

国 労 ち ば

国鉄労働組合
千葉地方本部
発 行 加藤 晃一
編 集 高橋 弘幸
【電話】
JR 2930 FAX 2934
NTT 043(238)5963

第182回拡大地方委員会号

課題を明確にし諸問題を取り組もう

第182回拡大大地方委員会は「集まり議論する」ことについて各地方委員の承認を得て感染防止対策を十分に取り開催した。

嶋田組織部長の開会あいさつで始まった。議長には成田保線分会の海後委員が選出され議事を進行した。

加藤委員長のあいさつの後、東日本本部からのメッセージが披露された。

議題では協約・協定の締結、活動方針(案)の提案、組織部から組

織状況と分会再編についての報告がされ討論に入った。

7名の委員から発言を受け、活動方針は全体の拍手で承認された。

越川副委員長の閉会あいさつの後、加藤委員長は音頭で団結ガンバローを三唱し閉会した。

活動方針

私たち千葉地方本部は、昨年10月に第75回定期大会を開催し、合理化反対、労働条件の改善、安全・安定輸送の確立、2022春闘勝利、そして喫緊の課題である組織強化・拡

大の取り組み、平和と民主主義を守る闘いに全力をあげることを確認し、決定された方針に基づき運動を展開してきた。

また「地域住民の足を守る運動」の更なる展開と、職場組合員の声に依拠した運動を強化するため職場オクルグや職場集会への積極的な参加で議論を深めながら、地方本部全体で様々な取り組みを強化

加藤委員長



委員長あいさつ

ロシアがウクライナに侵攻、平和を守る運動が重要になっている。

今委員会は問題が山積する中、対話し議論すべきと判断した。

国鉄の「分割・民営化」から35年の節目。2月16日は採用差別された日、今年「委員長声明」を發した。闘

いの歴史から培ってきた権利やこだわりが奪われている。様変わりする現状の一因は労働組合の弱体化がある。

課題の1点は「組織強化・拡大」会社の効率化にあきらめ・失望感も。労働条件改善へ意識を持つ。次世代の運動を担うため活躍している若い仲間と共に闘う仲間を増やそう。

2点目は「生活上に向けた取り組み」コロナを理由に賃金抑制。要求を明確に職場点検運動・社員代表選挙を

活用し取り組もう。3点目は「地域住民の足を守る運動」地域の人たちと「ワンマン運転」や「駅の無人化」にどう取り組むか。「学習と交流」からお互いに学ぶ中で運動の方向性を再確認する。国労の闘いの歴史、経験と教訓を活かす運動の継承について、職場に蔓延する「不平・不満」の受け皿に国労がなれるか。確立した組織と財政を次世代に引き継ぐため議論をお願いする。

東日本本部メッセージ

東日本本部は2月11日、新橋・交通ビルにおいて書面による審議のもと第39回拡大委員会を開催し「当面する活動方針」を確立しました。

新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」の予想をはるかに上回る爆発的な感染により公共交通を担う働くものの労働組合として「感染しない・感染させない」ことを最優先にする立場から急ぎ書面による開催としました。

国労の最重要課題である「組織の強化・拡大」は、コロナ禍の困難な状況の中でも、前回大会以降2名の拡大を勝ち取ってきました。

また、この間の職場過半数代表選挙では、職場状況に合わせて他労組との共闘等、柔軟かつ創意工夫した取り組みにより、国労組合員の安全衛生委員会への選出等により、信頼関係の構築から組織拡大運動の基盤作りが着実に図られている報告がされています。引き続き、国労運動の「火」を絶やさないためにも、組織強化・拡大に全力をあげます。

東日本本部は、矢継ぎ早に進められる会社施策に対し、グループ会社全体の雇用と年活を守り、安全とサービスの低下を許さない取り組みや、まもなく始まる「新賃金要求」交渉等を強化することを通じ、組織の拡大を図る中からJR東日本に再び労働組合を位置付けさせる決意です。

事が急務。あわせて国労運動をどう継承発展させていくか大きな課題だ。労働組合未加入者が8割という中、不安や不満をどう解決していくか労働組合の真価・存在意義が問われている。

労働条件を改善させるのは労働組合であり、労働組合の必要性を訴え、国労に迎え入れることが喫緊の課題だ。労働者の雇用と労働条件改善、利用者の安全とサービスを守るため取り組んでいる地域公共交通再生に向けた運動は、各分会が運動の趣旨を再確認し、地区・

地域で職種・系統を越えた交流を重ね、政党や共闘との関係を強化し、地区運動の発展と国労運動の継承に向けて、今後も取り組んでいく。

第182回拡大大地方委員会の任務は、国労の将来展望を見据え組織強化・拡大に組合員が丸となり取り組むとともに憲法改悪阻止をはじめロシアの侵略を許さず平和と民主主義を守る闘いなど、国民的課題・政治的課題と国労の闘いを一体のものとして職場・地域から運動を強化していく事だ。

討 論



◇竜崎委員(蘇我連)

対交流を行う。若い人に丁寧話し込むが結果はきつい状況に。他労組と総括して次回に繋げたい。ダイヤ改正で特急料金回数券が廃止に、月40回も特急を利用する人は大幅な値上げに。会社へ苦情と説明を求めても明確な回答がなく、車掌は利用者に対して「申し訳ない」との対応しかできない。

社員代表 表選挙では他労組と選



◇秋山委員(佐倉)

同選対で活動。選挙活動の動きが見えるようにライン等通じて情報を共有。選挙で職場を回るとトイレの廃止など様々な問題が浮き彫りに。すぐには改善とはならないだろうが、選挙を通じて色々な話をできたことは大きな成果だ。

社員代表 表選挙に成田分会と合



◇小野寺委員(幕電)

組合が多い。以前の分会から異動したくない人も多い。分会も対応に苦慮している。エルダーでも元分会の選択もあるのでは。

エルダーになり 異動し てくる組



◇東平委員(千葉連)

春闘の話し込みから社員代表選挙を取り組んだ。減収で節約。コロナ禍で飲み会も何もないから生活できている。今の若い人は現状を変えるのではなく、どう生き抜くかだ。労働組合について興味ある新入社員もいる。組合説明会を考えている。鉄道の在り方について検討が始まっているが会社と自治体任せだ。政治の場で国として守らせるべき。参議院選挙を先頭に立ち頑張ろう。

春闘の話し込みから社員代表選



◇寺林委員(新保)

職場代表 表選挙では1月に社員代表が転動し2月に選挙。立候補者は会社のメールで「社友会から立候補」となっていたため、選挙違反と指摘した。拠点対応の見直しで問題・不満が出ている。これらを執行委員会等で議論し組織拡大へつなげていく。毎年新入社員と食事を催して組合説明会を開催している。他分会でも取り組みを。

職場代表 表選挙では1月に社員



◇古賀委員(千機区)

2月12日、貨物協議会定期委員会と分会大会を開催し組織整備してきた。春闘では定期昇給の完全実施が基本。春闘集金はデモ行進でアピールを。「線路使用料」が賃上げのネックに。国からの補助がなければなりたない。災害が大変化している中、トラック輸送への移行は不安。運転士不足も

2月12日、貨物協議会定期委



◇森田委員(千建)

「退職なのに立候補するの」と言われた。結果は落選だったが、初めてポスターを掲示し、良いアピールができた。最初のエルダー面談は勤務時間だが、その後労働時間外、他の職場は時間内。田舎の駅のトイレ閉鎖。上屋のメンテナンスも無しに。

代表者に選挙に立候補したら

答 弁

▼JESSの多くの管区で佐倉分会のような組織的な運動を展開してほしい。▼基本は、転動先の分会に所属するようにになっている。分会再編に関しては、改めて検討していく。▼職場での組織拡大の取り組みは引き続き行ってほしい。社員説明会もその一つの運動。▼組織拡大に向けた職場代表選挙は有効な運動でこれからも頑張っていく。組織部でも分会の取り組みに学びたい。

書記長集約



北嶋書記長

7名の委員から発言を受けた。「労働組合は平和と民主主義を守る」ことを改めて意識した。政治と労働運動は無縁ではないことを若い仲間にも伝えていくことが重要。

との会話が大事だ。労働組合の魅力訴え取り組みの強化を。反合理化の闘いは、どうやって労働条件を守るか、安全・安定輸送を守っていくのか。国労だけでは改善は困難。そのためにも仲間を増やすことが重要。地域住民の足を守る運動では、利便性を向上させていくため、関係分会にこの活動への参加をお願いする。2022春闘では、定期昇給を完全実施させる。そしてベースアップ。生活実態は厳しい状況、赤字だから要求しないとはならない。社員代表選挙は、国労組合員も立候補し頑張っている。日頃の活動が結果につながる。ことから、通年闘争として取り組んでいく。

議 長 あいさつ



後委員(成保分会)

職場では退職者が出ても補充は無い。若い人の割合が増え、夜遅くまで残業するほど忙しくて自分の仕事ができない。また、その結果、調査内容が不十分で再調査するなど悪循環。社員代表選挙は取れなかったが、若い人たちと話し合っている。エルダー制度では本人の希望通りになるよう取り計らうべきだ。

房総特急トクだ値 批判が続出!

ダイヤ改正から一定期券用月間料金券が廃止されることから、千葉支社は「房総特急トクだ値45」に力を入れてきたが、早速、利用者から苦情が出され、現場の組合員からは次のように批判の声が噴出している。

◆会社は指定席に誘導しようとするが、割引を強調するが、割引で購入出来る席の数はかなり少く、買えなかったと苦情が。ポスターやチラシには、小さな字で席数限定と記載。大事な情報を小さく記載するのは悪徳業者の常套手段。

◆「便利でお得なえきねっとをご利用下さい」と、車内放送した車掌も詐欺まがいの片棒を担がされた感じ。会社のモラルは大丈夫!?

◆ここ1年強、本なら表紙だけ、お菓子だけなら箱だけ、要するに綺麗なパッケージだけ現場に投げつけて、投げた瞬間にその人物は興味を失い、ほったらかしという気がする。

◆会社は数字でしか判断しておらず、時間帯や列車ごとの特情を何もわかってない証拠だ。